

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2010年 1月 1日 第 3 号

発行

金剛山 阿弥陀寺

大谷 義文 伊藤 康

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 853-2

☎ (096) 289-0424

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

迎春

本年もどうぞ

よろしくお願ひします



益城町福富の朝目

仏教から何を学ぶのか

大谷 義文

昨年、自宅に「阿弥陀寺」の看板を掲げ布教活動を開始した。初めは、「いけ花教室ですか」とよく間違えられた。

先日、近所の小学生たちが娘の「唯」を誘いに来た。その中のひとりが仲間、「なあ、ここお寺か」と聞いている。繰り返して聞くとところを見ると、どうも納得してないようだ。今度は、私の顔を見て、「おっちゃん、ここお寺か」と聞き「そうだよ」と言い終わらないうちに、「毎日、何しとんの」、「死んだ人の家に行くのだらう」、「お経ってなあに」としゃべりかける。終いには、「毎日楽しいか」との問いには言葉が詰まった。娘の不在を伝えて、「またおいで」と言うと、自転車にまたがりながら、「変なお寺」と大声を発しながら去って行った。子どもたちの描

いているお寺を想像しながら、これからの寺の在り方を考えさせられる。過日は、狭い我が家に25名の方々がお参りに来られた。お骨を預けに来られる方もあった。今月は、親鸞聖人のご命日を縁として「報恩講」をお勤めする。生活の中に、生きる方向を明らかにして下さった聖人である。その教えを聞く場所が何処であろうと、そこが「お寺」である。

私たちの日常は、いのちを食い散らし、自分の思いに合わなければ攻撃し排除もする。他の犠牲の上に生きていることなど欠片も思い出せない。さらに、着飾り背伸びをして前ばかりを見る。そのすがたに足止めをさせる教えが仏教である。新年を迎え、ご縁の方々と共に歩んで行きたくお願い申し上げます。



佐土原本店 / 熊本市佐土原1-12-1 (佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

営業時間 昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)
夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)
定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替) 7・8月、12・1月は不定休



上乃裏通り店 / 熊本市水道町4-1 アートビル1F

電話 096-352-3228

営業時間 昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)
夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)
定休日/毎週月曜日(祝日の場合翌日振替) 7・8月、12・1月は不定休

http://www.kawasan.jp/



島根県浜田市 当時の阿弥陀寺

阿弥陀寺は、山陰地方、島根県浜田市に江戸時代末期に創建された。山奥で暮らす人々の願いにより、宗祖親鸞聖人の仏教を伝承し、現在に至るまで約180年の歴史を刻む。

昨年より、熊本の地で活動が始まったが、処が変ってもお寺としての課題を問われるのは、私の生活であることに変わりはない。

時折、お参りに行った先で「阿弥陀寺とは、本当にあったのか」、「お寺の歴史を教えてください」という声を聞いたので、ここでお寺の歴史を振り返ってみた。

「阿弥陀寺」の歴史



秋彼岸会法要報告

伊藤 康

9月23日、小春日和のお彼岸の中日に、阿弥陀寺での初めての「秋彼岸会法要」が勤まった。九州圏内から、上は80代のご婦人、下は0歳の赤ん坊までの20名程の方がお参りくださった。

月日は百代の過客にして、
行かふ年も又旅人也。

「おくのほそ道」松尾芭蕉

春のお彼岸は、お寺を始めたばかりで準備が間に合わずに勤めることができなかったため、秋には何としても勤めようという話しかつてきた。8畳の本堂とそれに連なる居間に座布団、座椅子を並べお参りに来ていただくのを待ち待っていた。

残暑が厳しい時期ではあったが、窓を開けていれば涼しい風が入っていた。二人で「何人来てくださるかな。誰も来られなかったならば二人だけで勤めよう」と話して話をしているとき、お寺の場所を尋ねる電話が鳴った。近くまで来ておられるというので喜んでお迎えにあがった。その後は次々とお参りに来てくださり、室内は冷房を入れなければならぬほどの熱気に

包まれた。今回お参りしてくださった方は、阿弥陀寺での活動を始めた直後に賛同し、ご支援してくださいました。その後ご縁をいただいた方など様々な方々がおられた。その皆様と正信偈を共に勤めし、その後は、私と大谷がお話をさせていただいた。

益城町において新たに



しく歴史を刻もうとしているこのお寺のあり方も同じように、大いなる願いを聞き、皆様と共に歩んでいかねばならないと感じたことである。

1年に2度、太陽が真東から昇り真西に沈む日に、真っ赤な夕焼け空の向こうに西方浄土を思い浮かべ、仏さまにお参りするといふ何百年も続いているご法事を阿弥陀寺においても勤めることができました。大きな行事はまだ到底できないだろうが、人が集える場所として、お寺の活動を少しずつ続けていきたいと思います。

まだ、夜も明けていないのに土間から蒸気が立ち込める。鍋の下は、七輪。外に出て、冷たい湧水で顔を洗うと、たくさんの生き物が近くにいることに気付く。夜は、手が届きそうな星空。村の中には街灯も自動販売機もお店もない。そんな暮らしの中にお寺はある。

市中心部は、漁村である。そこから山道を上がって、行き止まりの村だ。秋季に見る、たわわに実った柿の實の色と石州瓦の赤茶色が織り成す風景が印象的である。



裏山を越え町からの距離は短い道程は長いという、たいへん交通に不便なところだ。辺りには、同じような集落が点在しているが、町からお坊さんやお参りに来るのは容易ではなかった。

村の人たちが通るたびに手を合わせる阿弥陀堂と称した小さなお堂があった。それを、大谷洗十郎(法名釋洗心)の発案で「金剛山阿弥陀寺」と命名した。明治13年4月のことである。

2代目、釋鉄流は昭和10年12月1日に亡くなるまで、村々で親鸞聖人の教えを布教した。

3代目、釋義範は門徒のないお寺を精神の依りどころとして、昭和61年8月14日に亡くなるまで維持した。

4代目住職、釋義博は東京にある佛光寺別院で輪番を勤め、現在は京都佛光寺本山で宗務総長を勤めている。



現在の阿弥陀寺 (島根県)

現在、村の人口も減り高齢化が進んでいる。お寺の前を、腰の曲がったおばあさんが、電動三輪車に鎌や鎌を積み行き来しているすがたをよく見る。当時は、法事だけではなく、農作業の打ち合わせ等で賑わった本堂も老朽化のために14年前に解体して、小さなお堂にしている。

そんな暮らしの中に誕生した阿弥陀寺を、現在2人で継承している。

処が変わっても、変わらぬものに気付いていく声に振り向き歩んでいきたい。

(大谷)

当店では、フランス風のお菓子を、楽しく、おいしく召し上がって頂けますよう、心を込めてお届けいたします。

フランス菓子専門店
ポント・ヌフ
Point Neuf
biscuits et pâtisseries

〒862-0970 熊本市渡鹿2丁目10-1
TEL 096-364-4887 FAX 096-364-4887
営業時間 AM9:30~PM8:00

ギフト用クッキーの詰め合わせも、贈り先、ご予算に合わせてご用意致しますので、お気軽にお申し付けください。

※お電話での注文、ご予約も承っております。

個人出版

あなたの想いを、カタチに。

「本」のカタチにしたその人の人生は、ひとつひとつが貴重で確かなものです。創想舎では、印刷会社の豊富な経験を活かして、ご希望の本をカタチにします。

SO 創 SHI 想 SHA 舎

【ホープ印刷(株) 出版事業部】 〒861-8007 熊本市龍田弓削1丁目4-12
TEL.096-338-0500 FAX.096-386-3001 E-mail:mb@hope-printing.co.jp URL:http://www.xnd.co.jp/seminar/

御正忌 報恩講

日時・1月17日(日)

午後1時30分よりお勤め

午後4時まで

場所・阿弥陀寺(益城町福富)

法話・大谷義文、伊藤康

上記の日程で、親鸞聖人ご命日・御正忌報恩講をお勤めします。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。



猫伏石の声

○石臼のお礼

前号にて石臼を譲ってくださいるようにお願いしましたところ、数軒のお宅から分けていただき、「年末もちつき大会」が開催できました。詳細は

○法語カレンダー

次号にて報告します。ありがとうございました。差し上げます。真宗教団連合が毎年発行しているカレンダーです。毎月、親鸞聖人のお言葉が掲載されています。二〇一〇年版の残部が多

○鼓、お譲りください

少ありますので、必要の方はご連絡ください。今までお稽古されていた、小鼓、大鼓がご家庭にありましたら譲っていただきたく思います。こ

行事報告

- 9月23日(水) 秋・彼岸会法要
- 10月10日(土) あみだ寺映画館「檀山節考」(1983年・東映・今村プロ・131分)
- 12月30日(水) 餅つき

行事予定

- 1月 1日(金) 修正会
- 17日(日) 御正忌報恩講(日未定) 寺子屋算数教室
- 30日(土) あみだ寺映画館(旧暦12月16日)「忠臣蔵」
- 2月(日未定) 寺子屋算数教室
- 3月21日(日) 春・彼岸会法要

本紹介



「身体感覚で『論語』を読みなおす。」
安田 登著(能楽師)
春秋社・定価11785円

古来より、日本人の教養・考え方の基本にあった『論語』の核心を、孔子時代の文字と身体作法の視点から解き明かす力作。「こども能チャレンジ」の先生です。本はお寺にあります。

平成22(2010)年・年回忌表

- 1周忌 = 平成21(2009)年
- 3回忌 = 平成20(2008)年
- 7回忌 = 平成16(2004)年
- 13回忌 = 平成10(1998)年
- 17回忌 = 平成6(1994)年
- (23回忌 = 昭和63年(1988)年)
- 25回忌 = 昭和61(1986)年
- (27回忌 = 昭和59年(1984)年)
- 33回忌 = 昭和53(1978)年
- 50回忌 = 昭和36(1961)年

上記が、本年の年回忌の一覧です。ご法事の日程が決まりましたら、お早めにお寺までご連絡ください。

(096-289-0424)

尚、阿弥陀寺よりお参りさせていただいているお宅には、郵送にて年忌のご案内をさせていただきます。

ちらから取りにあげりますのでご連絡ください。本年の「こども能チャレンジ」にて稽古に使わせていただきます。

○お参りにあがります。葬儀、月参り、法事、墓経などのお参りをさせていただきます。どのようなことでもお気軽にご相談ください。

心と心のふれあいを大切に



<http://www.matusita.net>

お安い費用で、お仏具修復



どのような事でも、当社営業マンにご相談ください。お見積りは、無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

仏壇修復・御宮殿修復・須弥壇修復・彩色仕上・各種仏具修復新調

株式会社 松下仏壇店

- 熊本店 / 熊本市上水前寺1-12-12 (東バイパス熊工前) 096-384-5666
- 玉名店 / 玉名市中1832 (玉名高校前) 0968-74-4840
- 山鹿店 / 山鹿市大橋通り404 0968-43-5665
- 本店 / 大牟田市上町2-2-4 (上宮通り) 0944-56-3675
- ショールーム / 大牟田市曙町7番地の6 0944-54-5518

